



～ 長い夏休みも残り1週間あまりになりました！ ～

7月23日の終業式で子どもたちに2つの話をしました。

一つめは、「目標を決めて、チャレンジすること」です。

1学期の学習や係活動への取り組み、友達とのかかわりなどを振り返り、「できなかったことや苦手なことにチャレンジする」のもよし、「できたこと・得意なことをもっともっと伸ばす」のもよし。今一度、2学期の目標を子どもさんとともに確認いただき、2学期がスタートする前に課題の克服に取り組んでほしいと思います。



もちろん、目標は学習面に限ったことではありません。早寝早起きやお手伝い、運動、あいさつ、話を聞く構えなど、その子に応じた取組を保護者とともに話し合い、決めたことに根気強く取り組ませてほしいと思います。

二つめは、「子どもたちだけで川遊びに行かないこと」です。

夏休みを前に日向市内の小学6年生が水難事故で亡くなったことを受け、終業式に続き、本日の集会でもあらためて指導を行いました。

夏休みに入ってから全国各地で川や海での水難事故が続いており、その中には小中学生も多く含まれています。保護者や大人同伴でも事故が発生している事案もあり、消防などでは救命胴衣（ライフジャケット）などを身に付けることを



～ 8月27日の奉仕作業、よろしくお願いします ～

23日終業の日、1学期の学習や生活、友達とのかかわりなどの様子を記した「あゆみ」を渡します。私も一足先に全員分に目を通しました。一人一人の学びの足跡や成長の様子がよく伝わり、うれしく思いました。また、もう少しがんばってほしい点について触れられたものもあり、2学期への期待もふくらみました。

「あゆみ」の見方・生かし方について整理しましたので参考にしてください。



① **まずは、できるようになったことやがんばったことを ほめてあげてください。**

□ 「ほめる・認める・共感する」は、子どものよさを伸ばす鉄則です！

子どもの自尊心を高めた後、課題や気になる点について励ましたり、努力を促したりすると素直に耳を傾け、意欲をもって夏休みの課題に取り組めます。

② **具体的なめあてを示しながら ほめたり、励ましたりすると効果的です。**

□ 「(評定の)3が増えるようにならなさい」といった抽象的な声掛けではなく、「問題を最後までしっかりと読んで解くと間違いが減るんじゃないかな」といった具体的なアドバイスが効果的です。そのためにも日頃から子どもの家庭学習に積極的にかかわり、子どもがどのような努力をしているか、どのような課題があるのかを知っておくことが大切です。